

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	本部町ことばの教室(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	令和7年3月11日		～	令和7年5月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月17日		～	令和7年5月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ建物内に、高齢者のデイサービスもあり、交流することができる。お年寄りとの交流で、思いやりの気持ちが育まれたり、マナーや社会性の向上が期待される。	一緒に参加できる行事やイベントを計画し、取り組んでいる。	日々の活動の中でも、関わりをもてるようにしていく。
2	海遊びや生き物の飼育、野菜や草花の栽培等で、自然に触れながらの活動を多く取り入れている。自然に触れることで五感を刺激し発達を促すことができる。生き物や植物を育てることで、責任感などの心の成長が期待できる。興味のあることから学習意欲へつなげることできる。	季節に合わせた植物を育てる。事業所内で飼育できる生き物を一緒に育てている。（えさやりや飼育スペースの掃除など）。児童が興味を持ったことを一緒に調べる。	安全面に配慮して、海遊びや川遊びを計画する。生き物を自宅でも育てたい気持ちがあるので、事業所で飼育方法を覚えて、自宅でもお世話できるように支援していく。
3	公共の施設が近くにあるので、見学したり、イベントへ参加したりしやすい。地域との交流にもつながる。また、他市町村にある施設へも足をのぼし、見学したり体験したりしている。	町の図書館や博物館を頻繁に利用する。いろいろな本に触れたり、読み聞かせイベントに参加する。博物館では季節の展示を見学する。児童が興味を持ちそうな施設やイベントの情報を集め、外出の計画を立てている。	今後もいろいろな施設やイベントの情報収集を行い、利用児が興味関心を持って参加できるように計画をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の同年代の子どもたちとの交流が少ない。	交流の場やイベント等が少ない。	地域のイベントに誘われたときは積極的に参加する。事業所主体で、地域の子どもたちと交流できる行事を計画する。
2	言語指導を希望する問い合わせがあるが、STが常駐していない為、十分な支援ができない。（月1回程度、STの訓練があり、その他の日は、STから助言を受けた経験者が指導にあたっている。）	人材不足。常勤としての採用が難しい為。	STの指導回数を増やせるよう調整する。研修や勉強会等で、職員の知識を高め、よりよい支援ができるようにする。
3	職員の質の向上の為、いろいろな研修会・勉強会へ参加したいが、都心から離れている為、開催場所が遠く断念したり、土曜日も営業しているため、時間的に参加が難しいことが多い。	開催場所が遠い、営業日と重なることが多い為、職員の調整等が難しく、参加を断念することが多い。	リモート研修へ積極的に参加する。講師を呼ぶ等して、事業所のできる研修や勉強会を多く計画する。